



新しい時代の問題、マーケティングを使って解決します！

## オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター

Ver.4 第77号

### 「小説家になって億を稼ごう」を読みました！



皆さん、お元気ですか！ 今月は「小説家になって億を稼ごう（新潮社、¥880、松岡圭祐著）」をご紹介します。Amazonのお薦めでタイトルを見て、どんな内容なのかと興味を持ちました。小説の創作方法からベストセラー作家になった時の身の処し方まで、ページ数に制約があるにも拘わらず、丁寧に説明されています。

ジャンルは問わず、小説家志望の方にお薦めです。さらに、メルマガやニュースレター等、オウンドメディアを執筆されている方にも読んでほしいです。

本書はある意味、小説家になるための入門書です。「はじめに」の中で、著者の確定申告書の一部が示されています。そこに「111,214,785」という数字が出現。タイトルに嘘はないと、自ら立証したわけです(笑)。スゴイですね！

どの章も見たことも聞いたこともないお話しなので、とても面白いです。特に第2章、「人々に愛される物語の『想造』とは」が良かった。「想造」というキーワードは、著者独自の物語の作り方を示した造語です。この第2章を読むだけでも、価格の100倍以上の価値があると思います。

「想造」について、少し情報提供しますね。*物語を結末まで「想造」しました。でもまだあらすじを書きとめてはなりません。連日、壁の登場人物たちを眺めながら、最初から最後まで順を追って物語を空想し直しましょう。想像の中に浸り切って楽しむことが重要です。そのうちより面白いアイデアを思いついたりします。無駄な部分は忘れ、自然に切り捨てられていきます。(P38)* 妄想を毎日やれということですね(笑)。

でも、ちょっと意外な情報もありました。*貴方が処女作に良い題名を思いついた場合、特にシリーズの共通タイトルにできそうであれば、商標登録をお勧めします。題名の商標登録を行う小説家はあまりいません。しかし貴方は自分の作品を優良ブランドに育てていく必要があります。本のタイトルには著作権がありません。タイトルは小説に含まれていないと解釈されるからです。固有名詞を含まない題名の場合、小説に限らず映画や漫画、ゲームなどに盗られてしまうリスクがあります。これを防ぐための商標権を得るのです。(P140)*なるほど、この当たりの考え方は起業家に近いですね。

著者は1997年に28歳でデビューした推理小説家です。僕は著者の本を一冊も読んだことはありません。ただ、「催眠」や「千里眼」というタイトルは見たことがあり、なんとなく記憶に残っています。小説がベストセラーになるということは、小説を読まない人にもタイトルくらいは認識されるのですね。

僕が小説家になるかどうかは分かりません(笑)。ただ、文章表現の幅を広げるためにも、興味を持った小説を読んでみます。まずは、敬意を表して著者の小説を一冊、買い求めますね！

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター編集部

発行人 奥村政治

〒571-0047 大阪府門真市栄町6番9号 門真プラザ610号

発行日 2021年11月1日

TEL06-6991-9627

Email: info@1project-support.com

https://1project-support.com

Copyright 2021 オクムラ経営コンサルティングオフィス all rights reserved